

# 令和3年度における 手取川上流大汝国有林 崩壊地対策について

令和3年6月8日

林野庁近畿中国森林管理局

石川森林管理署



国民の森林・国有林



近畿中国森林管理局

# 令和3年度に実施する対策の概要

## 自然導入部

自然植生の侵入が見られており経過を観察

## 斜面上部(乾燥部)

比較的安定した中腹部については郷土種の木本類を中心とした緑化を実施。

### ■航空コア緑化工A

種子(近隣で採取)、肥料、保水剤入り水溶紙製容器を散布(2500袋)



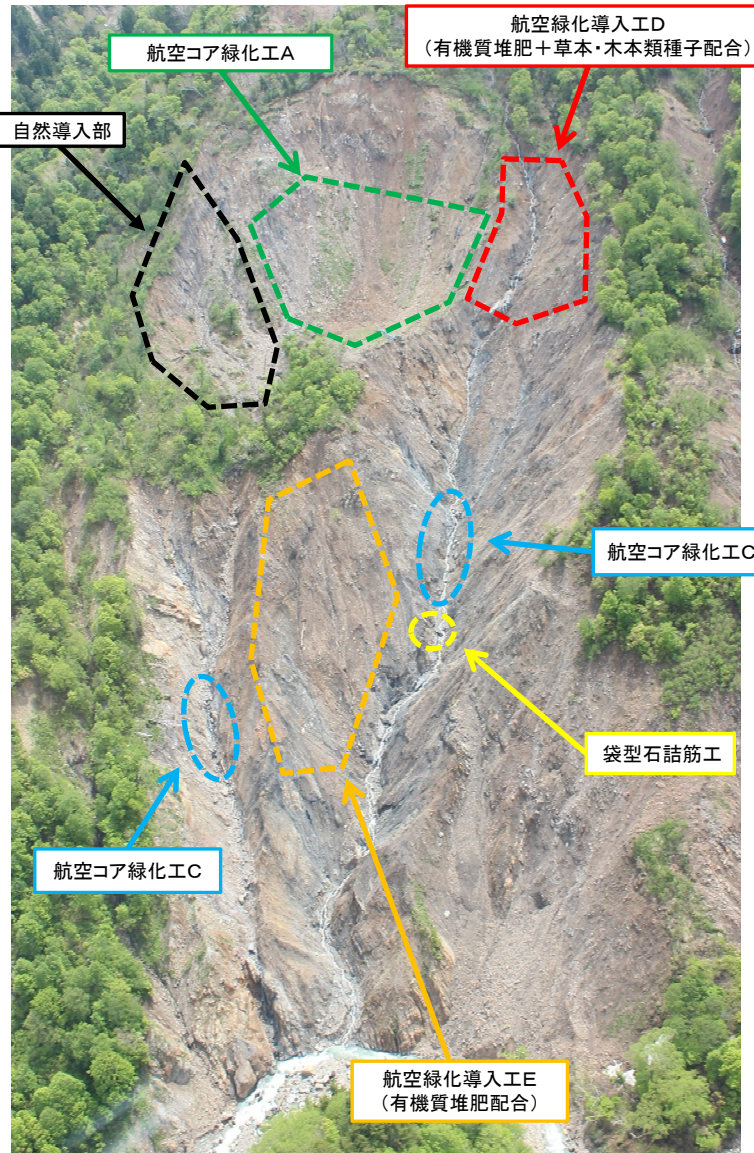
水溶紙製容器イメージ

## 斜面下部(乾燥部)

表面の土砂移動が落ち着いてきた下部斜面に植生導入に向けた土壌づくり実施。

### ■航空緑化導入工E

有機質堆肥等の散布



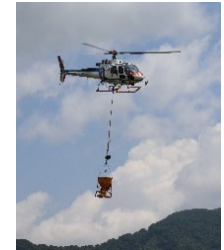
撮影: 令和3年5月26日(石川森林管理署)

## 斜面上部(湿潤部)

谷部周辺の緑化を図るため郷土種の草本・木本類による緑化を実施。

### ■航空緑化導入工D

種子(近隣で採取)、有機質堆肥等の散布



イメージ

## 斜面下部(湿潤部)

土壌が比較的湿潤な箇所に郷土種のヤナギの枝による緑化を実施。袋型石詰筋工の背面などに散布。

### ■航空コア緑化工C

発根したヤナギ枝と赤玉土入り麻袋(300袋)を袋型石詰筋工と同様の袋に20~30本ずつまとめて梱包したものを配置



発根したヤナギ枝イメージ

## 斜面下部(湿潤部)

谷部の土砂移動を抑制し、背面に航空コア緑化工Cを集中的に実施。

### ■袋型石詰筋工

石を詰めた袋を配置(24袋)



袋型石詰筋工イメージ



設置イメージ



# 令和3年度対策の進め方について

## 対策の進め方

- 6月 ● 航空緑化導入工D・E、航空コア緑化工A  
(発芽に必要な温度、水分が得られるよう夏期に入る前に実施)
- 7月 ● 袋型石詰筋工
- 8月 ● 航空コア緑化工C (令和3年度対策工事完了)  
航空レーザー測量の実施  
(航空レーザー測量の実施等により現地斜面に係る詳細データを把握しつつ経過を観察)

### 【5月26日実施 崩壊地の現状確認の結果概要】

○雪融け後において、大規模な土砂移動は確認されず、全体的に昨年と比較して地形に大きな変化はないと考えられる。

○上部斜面の植生について、積雪が多かった影響により、芽吹きが若干遅れているが、これまでの対策により、夏季に向けて植生の繁茂及び範囲の拡大が進んでいくと考えられる。

○今年度の対策としては、引き続き、土壌づくりのための有機質堆肥の散布及び植生導入のための郷土種の種子等の散布を積極的に進めることが必要と考えられる。

## 崩壊地の状況



撮影: 令和元年5月22日(石川森林管理署)



撮影: 令和3年5月26日(石川森林管理署)